Poster Presentation

Sat. Nov 1, 2025 1:00 PM - 1:50 PM JST | Sat. Nov 1, 2025 4:00 AM - 4:50 AM UTC | venue(Kanamori sangyo hall)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-36] デジタル電話帳とオープンデータを用いた店舗存続確率予測モデルの構築

*Kento Kokubo[1], Yuki Akiyama[1] (1. Tokyo City University)

Keywords：機械学習、空き店舗問題、店舗存続確率、デジタル電話帳、オープンデータ

人口減少に伴う国内市場の縮小は，特に地域経済を支える中小企業や個人経営店に深刻な影響を及ぼし，空き店舗の増加を引き起こしている．空き店舗の存在は，単なる遊休不動産の問題に留まらず，通行量の減少による周辺店舗の売上減少，地域全体の不動産価値の下落に繋がる事例が数多く報告されている．そのため，出店後に長期間存続する店舗を誘致し，空き店舗の減少に貢献するアプローチが求められている．店舗の存続に関する研究は，多様な分野で蓄積されてきたものの，データ入手可能性の問題や対象地域の限定性などの課題を抱えている．そこで，本研究では，入手が比較的容易かつ全国を網羅するデジタル電話帳とオープンデータを用いて，店舗の将来存続確率を予測するモデルを構築した．本研究の成果は，持続可能なまちづくりを目指す自治体の政策立案や，不動産所有者によるテナント選定，新規出店を計画する事業者の意思決定を支援することが期待される．

©一般社団法人地理情報システム学会